

財六甲台後援会だより

(17)

第2回(平成21年度)社会科学特別奨励賞(凌霜賞)の授賞

六甲台後援会創立50周年記念事業として始められた標記の賞の授賞式が、この5月29日(金)午後1時半より六甲台本館2階の208号室で挙行されました。今年も凌霜会の総会・評議員会の前に昨年の第1回同様、凌霜会員の臨席を得て行う予定でありました。しかし、ご承知のような新型インフルエンザのため休講にしていた直後でもあり、大学から、凌霜会の会合は学外で催してほしいという要請があつて残念ながら今回は、新野理事長と事務局員以外は学内常務理事と関係学部長と研究科長のみ出席して頂くことになりました。本年の受賞者は、次の通りでした。

経済学部：Tserenkhuu Suvd(2年生)、千古和也(3年生)、岡本鉄平(4年生)、経営学部：垣見玲子(2年生)、幡生はるか(3年生)、前田枝里子(4年生)、法学部：秋本和哉(2年生)、佐野歩(3年生)、大場明香(4年生)、大学院博士課程前期課程は、国際協力研究科：篠原光宏(1年生)、貫田一馬(2年生)、法学研究科：李玲君(1年生)、専門職学位課程：大道若奈(3年生)、経営学研究科：河村望(1年生)、Pongtanalert Kritinee(2年生)、経済学研究科：Nguyen Trung Giang(1年生)、松岡佑治(2年生)、最後に後期課程では、経済学研究科：小田原彩子(2年生)、飯田健志(3年生)、経営学研究科：中村絵里・中岡孝剛(共に2



年生)、酒井裕規・森村文一(共に3年生)、および、国際協力研究科：于琳秀・光森祥子(共に3年生)の計25名です。

ご覧頂くと分かりますように女性が14名(56%)、外国人留学生が5名(20%)という構成でした。また、25名中昨年引き続き授賞したのは3名で、この人達がいかに努力を続けているかが推察されます。なお、凌霜賞は、学部生および大学院博士課程前期課程院生には、それぞれ個々に、副賞60万円が授与され、大学院博士課程後期課程院生には海外の国際学会での発表を主とした派遣旅費が授与されました。

当日の授与式では、開会の辞を中野常務理事、あいさつを新野理事長という次第で開始し、賞状を理事長から、また副賞を各学部長および研究科長からお渡ししました。その後、本年は、経済学部4年生岡本鉄平君と経済学研究科博士課程前期課程2年生松岡佑治君、および同後期課程3年生飯田健志君の3名がそれぞれに受賞者を代表して謝意と決意を述べ、更に全員で記念写真を撮影して閉会しました。なお、その記念写真は、神戸大学のホームページで紹介されていますのでご覧くださればと思います。

六甲台講堂修復のための募金について

本誌2月号および別紙折り込みで野上学長、高崎凌霜会理事長および当会新野理事長の連名でお願いしていました六甲台講堂修復のための募金については、皆さんが早速にご応募くださっていることについて5月号でもお礼を申し上げました。凌霜会員の皆さんがいかに母校講堂修復に熱意を持っておられるかが分かり、心より感謝

しています。先にも申し上げましたように、神戸大学基金の方で募金を始めてから平成21年2月13日までに既に651人の方から8千950万円を講堂修復目的としてご寄付を頂いていました。ところが、先ほどふれました2月号以降(2月号は2月1日に発刊されました)お願ひに添えてこの原稿締め切り日までに「ご寄付くださった方は503人、その金額は2千430万円となりました。従って、皆さんからの「ご寄付」だけで1億1千380万円強となりました。以前ご報告しましたように、六甲台後援会からは1億円「ご寄付」上げるようにしております。また、出来れば、六甲台講堂修復のために「ご寄付」くださった皆さんの名前をご報告したいと思いましたが、紙幅の関係上1、100名を超える方々のお名前を列記することは出来ません。お許しください。

なお、大先輩出光佐三さんの創業された出光興産株式会社から、この度、野上智行前学長、安藤幹雄前理事・現学長補佐のご尽力もあって、佐三さんを記念した「ご寄付」を2億円頂けることになりました。それもあって、新しい六甲台講堂には、兼松記念館と同じように出光佐三さんのお名前を冠した「出光佐三記念六甲台講堂」の名称が付けられることになりました。そうなるのとこれ以外に、大学本部で基金から準備していた金額もありますので、六甲台後援会が寄付した1億円は、特別基金として今後の六甲台講堂の運営に役立てて頂くことにしました。

そんなわけで、今年の10月31日に予定されているホームカミングデーの式典は、新装成った六甲台講堂で挙行出来ます。皆さんもど

うか大学に来て頂き座ってみてください。ついでに申し上げますと、
凌霜会および3学部を担当教授ともお話しをして、その日の午後は、
母校出身の優れた研究者の方に記念講演をして頂くよう準備をして
いるところです。ご期待ください。

なお、こうして、六甲台講堂の修復は、大先輩故出光佐三さんと
先輩の皆さんが創設された財団法人神戸大学六甲台後援会と、現在
の凌霜会員の皆さんのお力で完成すると言ってよいことになりました。
改めて凌霜会の役割の大きさを思うとともに、皆さんのご協力を
に感謝申し上げます。

六甲台後援会へのご寄付について

近年、六甲台後援会の基金運営をより活性化させようという意向
が強くなるにつれ、その基金をより増額出来るようにしなければと
いう思いがより大きくなってきます。税制上の違いもあって米国流
に大学への寄付金の大幅な増額をお願いする訳には参りませんが、
これからも少しずつでもご支援を強化して頂きたいという思いを強
くしています。そのような私たちの気持ちに出来るように、本誌5
月号発刊後も以下の皆さんから六甲台後援会に貴重なご寄付を頂き
ました。段野治雄様(昭40・経済) 10万円、匿名希望様(昭35・法)
200万円、新庄浩二様(昭38・経済) 20万円、佐竹英三様(昭34・
経済) 2万円、新野幸次郎様(昭24) 100万円、山邑陽一様(昭
34・法) 10万円、大橋茂次様(昭26) 1万円、亀田訓生様(昭35・
経営) 10万円、岸田誠二様(昭35・経営) 1万円、がそれです。こ
のうち、段野様分は平成20年度受け入れになります。それを含め

て354万円になり、こうした形で平成16年度からお願いをするよ
うになって、実に1億9千206万円を超えるご寄付を頂いたこと
になりました。皆さん本当にありがとうございます。これからも
どうかよろしくお願い申し上げます。

なお、いつも申し上げますように、六甲台後援会へのご寄付
につきましては、折り返し税法上の特別措置のある証明書付きの領
取書をお送りしております。六甲台後援会へのご寄付の送り先は以
下の通りですのでよろしく願います。

◎銀行送金の場合(銀行からの連絡が遅く、領取書送付が遅れない
ようにするため、お葉書でもFAXでも結構ですから、送金のこ
とを事務局へご一報ください)

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金口座 4069496

口座名義 財神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合(通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください)

口座番号 00980-9-116772

口座名義 財神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

財神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013